

全国医学部長病院長会議

これまでの取り組み

- ・大学医学部、医科大学における児童青年精神医学卒前教育の現状についての資料。
- ・医師国家試験出題基準（医師国家試験における精神神経疾患の占める割合は、各論の5%、総論の4%であるが、小児関連の出題は極めて少ない（平成16年は、自閉症の症状に関する問題が1題のみ出題された。））
- ・小児精神科の診療を行っている大学はほとんど皆無。

文部科学省

これまでの取り組み

全国79の医科大学（医学部）の教育プログラムの指針となる「医学教育モデル・コア・カリキュラム」において、

- ①小児の精神運動発達を説明できる。
- ②児童虐待を概説できる。
- ③小児行動異常（注意欠陥多動障害、自閉症、学習障害、チック）を列挙できる。
- ④思春期と関連した精神保健上の問題を列挙できる。

といった到達目標を掲げ、各大学がこれに基づいた教育カリキュラムの策定を行っている。